平成24年度

監査結果の概要を公表します

定期監査

〈監査の対象〉

市長部局(19課)、消防本部、議会事務局、教育委員会(4課)、農業委員会事務局、監査委員事務局、公営企業2事業(水道、病院)

〈監査期間〉

平成24年10月25日～25年3月26日

〈監査場所〉

監査委員事務局

〈監査方法〉

各所管の財務に関する事務および経営に係る事業の管理が、適正かつ効率的に行われ、住民福祉の増進のために効果を上げているかなどを主眼に、提出された資料や関連書類について担当課長などに説明を求めました。主なものとして、予算の執行状況、補助金の状況、工事や委託業務などの各種契約状況、施設の管理状況について聴取しました。

〈監査結果〉

総体的に予算の執行状況および事務処理状況は、おおむね適切に処理されているものと認められました。今後とも市政発展のため、将来を見据えた適時・適確な行財政運営と市民サービスの向上に、より一層努力するよう要望しました。

〈指摘事項〉

庶務課、学校教育課／昨年に引き続き備品管理状況調査を小学校5校、中学校2校を抽出し実施しました。その結果、前年度の指摘事項である、備品台帳の作成については、改善されておらず、前年度と同様の一覧表でのデータ管理となっていました。市財務規則を所管する財政課と協議し、早急に改善してください。

財政援助団体などの監査

〈監査の対象〉

公益社団法人旭市シルバー人材センター

〈監査期間〉

平成24年10月5日～11月10日

〈監査場所〉

監査委員事務局

〈監査方法〉

市が補助金などを交付している団体、および公の施設の指定管理者に対し、補助金などの管理運用、会計経理、事務事業などの執行状況について、事前に関係書類の提出を求め、調査するとともに、市所管課長および団体職員に説明を求めました。

総体的に会計経理および事務の執行状況は、おおむね適正に執行されているものと認められました。今後とも会員の増強や受注の確保・拡大に努め、公益社団法人として高齢者の生きがいの充実と社会参加の推進に取り組みでもらうよう要望しました。

〈監査結果〉

総体的に会計経理および事務の執行状況は、おおむね適正に執行されているものと認められました。今後とも会員の増強や受注の確保・拡大に努め、公益社団法人として高齢者の生きがいの充実と社会参加の推進に取り組みでもらうよう要望しました。

〈監査場所〉

監査委員事務局

〈監査方法〉

市が補助金などを交付している団体、および公の施設の指定管理者に対し、補助金などの管理運用、会計経理、事務事業などの執行状況について、事前に関係書類の提出を求め、調査するとともに、市所管課長および団体職員に説明を求めました。

〈指摘事項〉

シルバー人材センター／請求書について、請求金額の内容が発注者に分かりやすいものとなるよう改善してください。

よう改善してください。

社会福祉課／市から交付するシルバー人材センターへの補助金については、補助事業が適正に執行されるよう、事業の目的、内容、補助対象経費、そのほか必要な事項を個別に定めた要綱を制定してください。

旭市監査委員 木村哲三
旭市監査委員 嶋田茂樹

※この結果は、市ホームページでも見ることができます。

問い合わせ先

監査委員事務局

☎ 62・5319

平成25年度随時監査

〈監査の対象〉

体育振興課(平成22～25年度)
・各種団体会計事務取り扱い状況

〈監査期間〉

4月8日～25日

〈監査方法〉

旭市元職員の不祥事を重く受け止め、全課を対象に各種団体の経理状況について調査を行った結果、体育振興課を除いてはおおむね適正な状況でした。調査で若干の不備が見られた部署には改善を図るよう指示しました。今回不祥事が発生した体育振興課においては、経理状況に不備が多く見られたため、出納簿や領収書つづりなどの諸帳簿を確認し、さらに第三者によるチェック機能が働いていたかを調査しました。

〈監査結果〉

7団体の会計について監査した結果、各年度とも全て通帳で管理していたものの、4団体においては、出納簿や支出票もなく、かつ領収書の管理も不適切であり、また責任者によるチェックも行われていませんでした。今回の不祥事は、まさにこのような内部統制の不備が原因であったのは明確です。

なお平成25年度における全ての団体の経理状況については、出納簿や支出票の作成、通帳や領収書の保管、また主管の長による確認も行われるよう改善されていました。

今後、各職場においてこのようなことが二度と起こらないよう、職員は公務員としての倫理感と責任感を常に意識し、公金の保管および管理についてさらなるチェック機能の強化を図り、市民の信頼回復に向けて努力されるよう要望します。